

平成 25 年 9 月 18 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

大建工業株式会社に住宅設備・建材メーカー初の  
「SMB C サステナビリティ評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、大建工業株式会社（代表取締役社長：澤木 良次）に対し、住宅設備・建材メーカー初となる「SMB C サステナビリティ評価融資」を実施致しました。

「SMB C サステナビリティ評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：藤井 順輔）が作成した独自の評価基準に基づき企業の ESG<sup>\*1</sup> 側面の情報開示とサステナビリティ<sup>\*2</sup> への取組みなどを評価し、評価結果に応じた融資条件の設定を行うとともに、取組みや情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回対象となりました、大建工業株式会社に対する評価結果は、「環境マネジメント」、「事業活動における環境負荷削減の取組（気候変動）」、「顧客に対する誠実さ」において高い水準であると判断され、サステナビリティに向けた企業経営において、良好な ESG 側面の取組と情報開示を実施されているとの評価になりました。

特に ESG 側面の取組では、①木質資源・未利用資源の有効活用を促進するため、中期経営計画の中で「エコ事業」<sup>\*3</sup> を軸に売上を拡大する姿勢を掲げるなど、環境保全の取組と経営計画を統合しておられる点、②事業活動における温室効果ガス排出量削減対策として、木くずや木材チップ等を燃料とするバイオマスエネルギーを積極的に導入しておられる点、③安全性・品質確保を中心とした多様な消費者への配慮や製品の安定供給等、顧客に対する取組を充実しておられる点等が高く 評価され、情報開示においても一定の開示がなされているとの評価となりました。

三井住友銀行では、「SMB C サステナビリティ評価融資」により、企業のサステナビリティへの取組みを、金融を通じて支援してまいります。

インシュレーションボード(畳床)



ダイライト(外壁下地材)



バイオマスボイラー  
(岡山大建工業)



<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境 (Environmental)、社会 (Social)、企業統治 (Corporate Governance)の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 サステナビリティとは

サステナビリティ (sustainability)とは、「持続可能性」を意味する英語であり、地球社会から企業活動まで、様々な状況において使用される用語です。一般的に、企業のサステナビリティというとき、地球環境や社会の持続的な発展に貢献しつつ、その上で自社が社会に認められ長期的に繁栄するために不可欠な企業の取組を指します。

※3 エコ事業とは

建築解体時の廃木材、製材端材や製鉄時の副産物であるスラグ、またシラス（火山灰）など、再生資源や未利用資源を有効活用した、環境配慮型の「エコ素材」を製造・販売する大建工業グループのコア事業。

以 上

このニュースリリースは、投資勧誘を推奨することを目的としたものではありません。